

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

号機	1号機		2号機		3号機	
	5月30日	6月27日	5月30日	6月27日	5月30日	6月27日
原子炉注水状況	給水系：1.4m ³ /h CS系：1.4m ³ /h (5/30 11:00 現在)	給水系：1.4m ³ /h CS系：1.4m ³ /h (6/27 11:00 現在)	給水系：1.4m ³ /h CS系：1.4m ³ /h (5/30 11:00 現在)	給水系：1.4m ³ /h CS系：1.4m ³ /h (6/27 11:00 現在)	給水系：0.0m ³ /h CS系：3.0m ³ /h (5/30 11:00 現在)	給水系：2.9m ³ /h CS系：0.0m ³ /h (6/27 11:00 現在)
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1)：20.4℃ 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1)：20.3℃ VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2)：20.3℃ (5/30 11:00 現在)	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1)：22.6℃ 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1)：22.5℃ VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2)：22.4℃ (6/27 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3)：26.1℃ RPV温度 (TE-2-3-69R)：27.5℃ (5/30 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3)：28.3℃ RPV温度 (TE-2-3-69R)：29.6℃ (6/27 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1)：24.2℃ RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1)：23.2℃ (5/30 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1)：26.5℃ RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1)：25.4℃ (6/27 11:00 現在)
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A)：20.6℃ HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F)：20.2℃ (5/30 11:00 現在)	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A)：22.7℃ HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F)：22.4℃ (6/27 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B)：26.6℃ SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1)：26.5℃ (5/30 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B)：28.8℃ SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1)：28.6℃ (6/27 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A)：24.0℃ 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1)：22.6℃ (5/30 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A)：26.5℃ 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1)：24.9℃ (6/27 11:00 現在)
原子炉格納容器 圧力	1.24kPa g (5/30 11:00 現在)	1.49kPa g (6/27 11:00 現在)	3.89kPa g (5/30 11:00 現在)	5.94kPa g (6/27 11:00 現在)	0.33kPa g (5/30 11:00 現在)	0.32kPa g (6/27 11:00 現在)
窒素封入流量 ※1	RPV (RVH)：13.69Nm ³ /h (JP)：14.15Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (5/30 11:00 現在)	RPV (RVH)：13.60Nm ³ /h (JP)：14.05Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (6/27 11:00 現在)	RPV：12.48Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (5/30 11:00 現在)	RPV：11.24Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (6/27 11:00 現在)	RPV：16.64Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (5/30 11:00 現在)	RPV：16.36Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (6/27 11:00 現在)
原子炉格納容器 水素濃度 ※3	A系：0.00vol% B系：- vol% ※4 (5/30 11:00 現在)	A系：0.00vol% B系：0.00vol% (6/27 11:00 現在)	A系：0.05vol% B系：- vol% ※4 (5/30 11:00 現在)	A系：0.08vol% B系：0.07vol% (6/27 11:00 現在)	A系：0.02vol% B系：0.03vol% (5/30 11:00 現在)	A系：0.00vol% B系：0.01vol% (6/27 11:00 現在)
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135)	A系：1.03E-03Ba/cm ³ B系：- Ba/cm ³ ※4 (5/30 11:00 現在)	A系：1.12E-03Ba/cm ³ B系：7.40E-04Ba/cm ³ (6/27 11:00 現在)	A系：ND (1.6E-01Ba/cm ³ 以下) B系：- ※4 (5/30 11:00 現在)	A系：ND (1.6E-01Ba/cm ³ 以下) B系：ND (1.5E-01Ba/cm ³ 以下) (6/27 11:00 現在)	A系：ND(2.4E-01Ba/cm ³ 以下) B系：ND(2.5E-01Ba/cm ³ 以下) (5/30 11:00 現在)	A系：ND(2.4E-01Ba/cm ³ 以下) B系：ND(2.4E-01Ba/cm ³ 以下) (6/27 11:00 現在)
使用済燃料 プール水温度	25.6℃ ※5 (5/23 11:00 現在)	28.9℃ (6/27 11:00 現在)	34.6℃ ※6 (5/30 11:00 現在)	29.4℃ (6/27 11:00 現在)	32.8℃ ※7 (5/30 11:00 現在)	28.6℃ (6/27 11:00 現在)
FPC 貯蔵タンク 水位	2.99m ※5 (5/23 11:00 現在)	3.82m (6/27 11:00 現在)	4.38m (5/30 11:00 現在)	4.41m (6/27 11:00 現在)	3.57m (5/30 11:00 現在)	3.92m (6/27 11:00 現在)

号機	4号機		5号機		6号機	
	5月30日	6月27日	5月30日	6月27日	5月30日	6月27日
使用済燃料 プール水温度	20.0℃ ※8 (5/13 5:00 現在)	20.0℃ ※8 (5/13 5:00 現在)	21.7℃ (5/30 11:00 現在)	23.2℃ (6/27 11:00 現在)	21.7℃ (5/30 11:00 現在)	23.0℃ (6/27 11:00 現在)
FPC 貯蔵タンク 水位	6.71m (5/30 11:00 現在)	6.70m (6/27 11:00 現在)	2.65m (5/30 11:00 現在)	4.00m (6/27 11:00 現在)	2.85m (5/30 11:00 現在)	2.60m (6/27 11:00 現在)

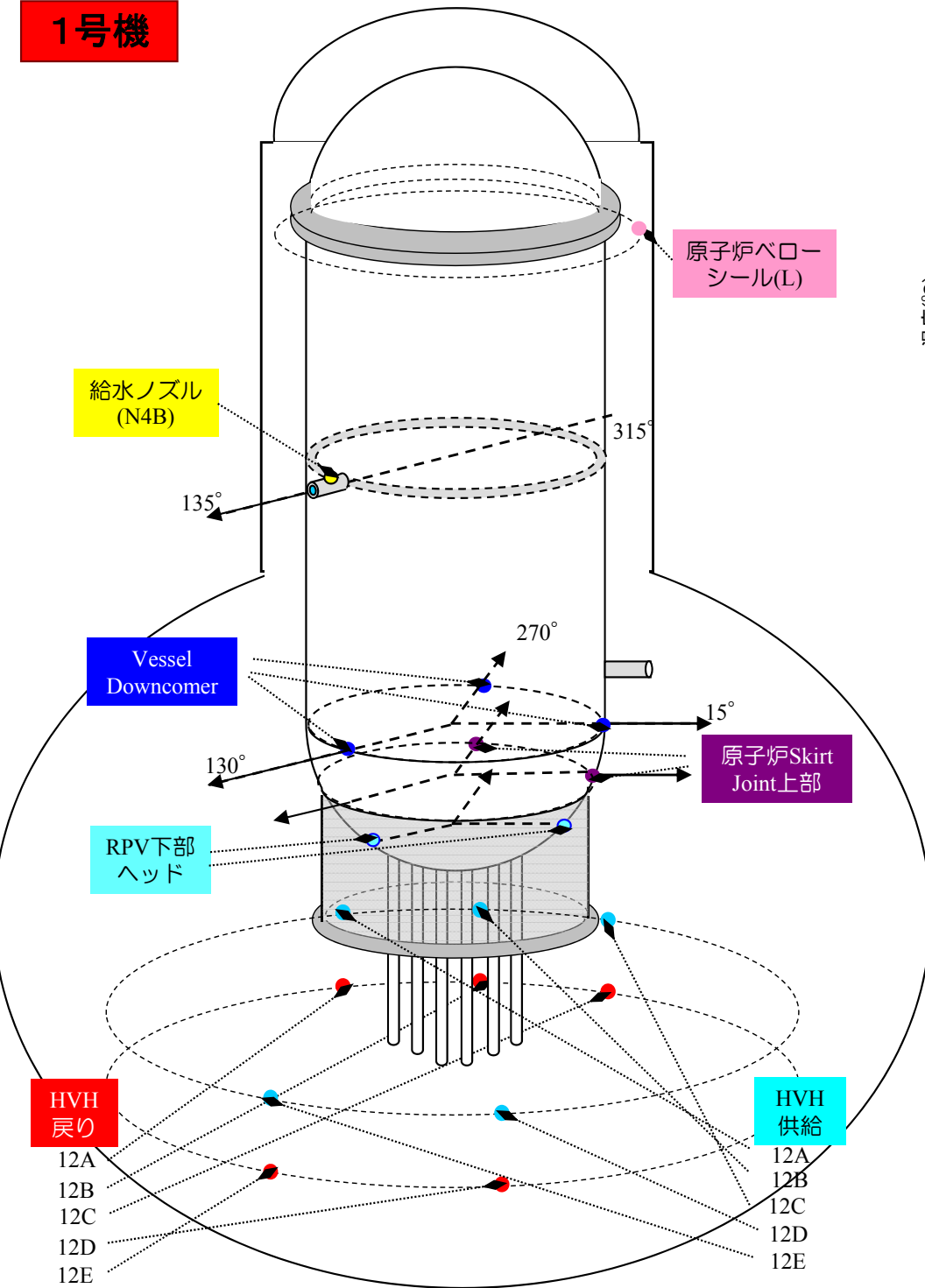
※1: 使用状態の温度・圧力で流量補正した値を記載する。
 ※2: 窒素封入停止中
 ※3: 指示値がマイナスの場合は0.00vol%と記載する。(水素濃度が極めて低い場合は、計器精度によりマイナス表示される場合があるため)
 ※4: 作業に伴いデータ欠測
 ※5: 1号機使用済燃料プール循環冷却系停止中の為、1号機使用済燃料プール水温度とFPCスキマサータンク水位に関しては至近のデータを記載。なお、停止期間終了(5/31 17時)時点の使用済燃料プール水温度は約27.9℃程度と評価。
 ※6: 作業に伴い、2号機使用済燃料プール循環冷却設備の二次系停止中。なお、停止期間終了(5/31 17時)時点の使用済燃料プール水温度は約35.0℃程度と評価。
 ※7: 作業に伴い、3号機使用済燃料プール循環冷却設備の二次系停止中。なお、停止期間終了(5/31 17時)時点の使用済燃料プール水温度は約32.9℃程度と評価。
 ※8: 作業により4号機使用済燃料プール冷却系一次系ポンプ停止中のため、4号機使用済燃料プール水温度に関しては至近のデータを記載。

※注水冷却を継続することにより、1～3号機の原子炉圧力容器底部温度、格納容器気相部温度は、号機や温度計の位置によって異なるものの、至近1ヶ月において、約20℃～約30℃で推移。

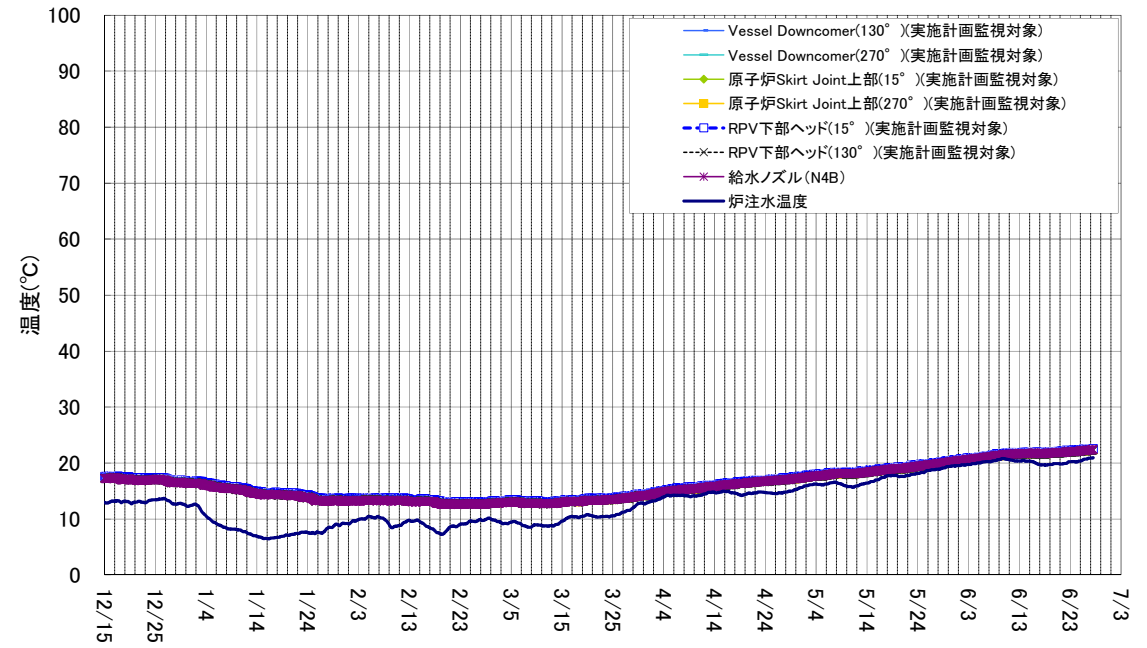
格納容器内圧力や格納容器からの放射性物質の放出量等のパラメータについては有意な変動はなく、冷却状態の異常や臨界等の兆候は確認されていない。

以上より、総合的に冷温停止状態を維持しており、原子炉が安定状態にあることを確認。

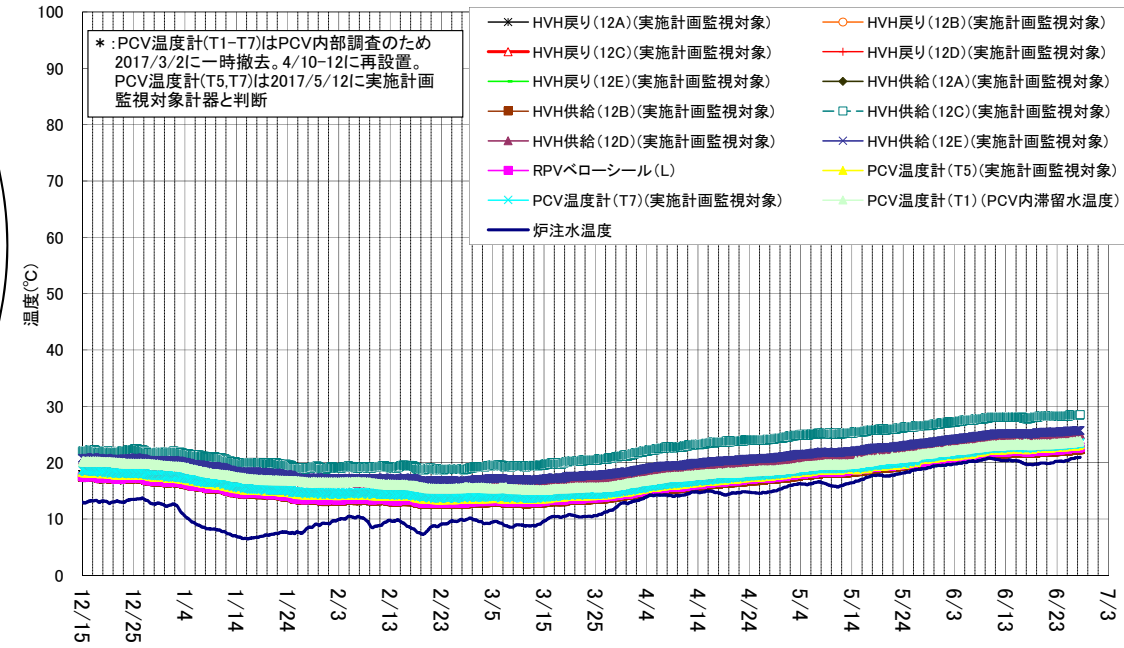
1号機



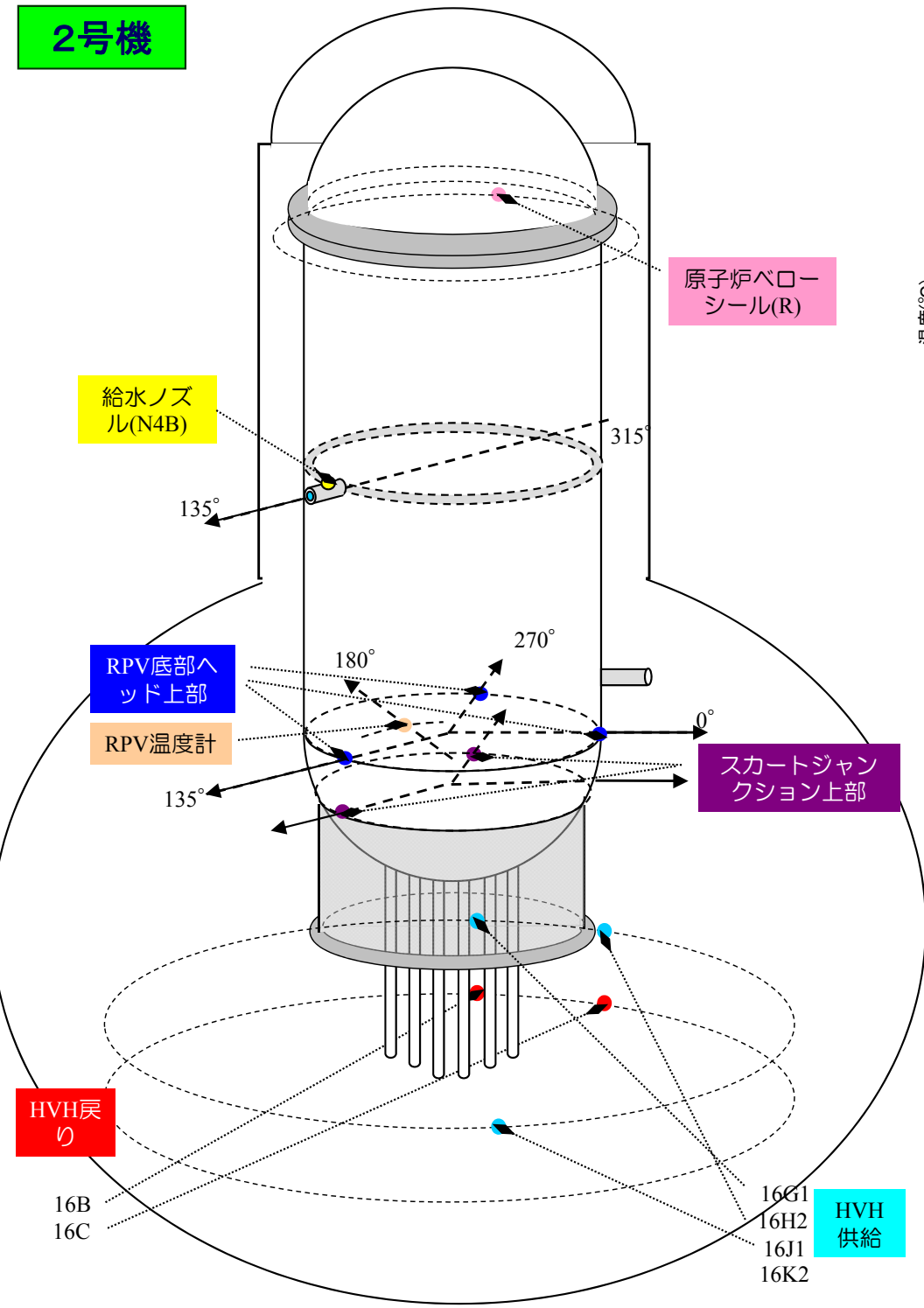
1号機 原子炉圧力容器まわり温度(12/15~6/27)



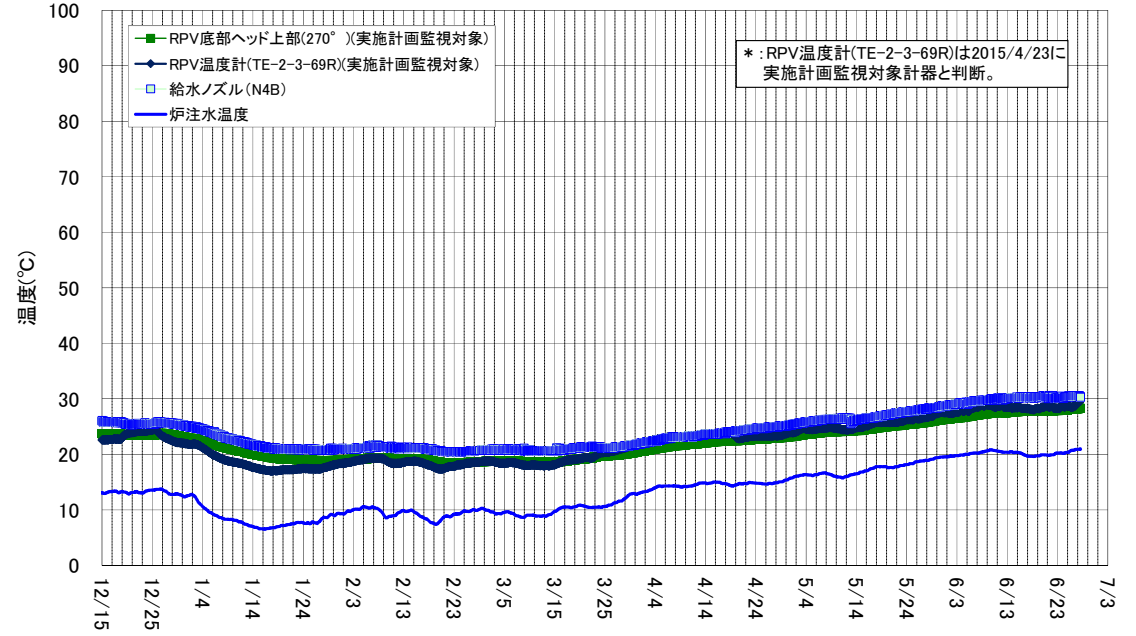
1号機 D/W雰囲気温度(12/15~6/27)



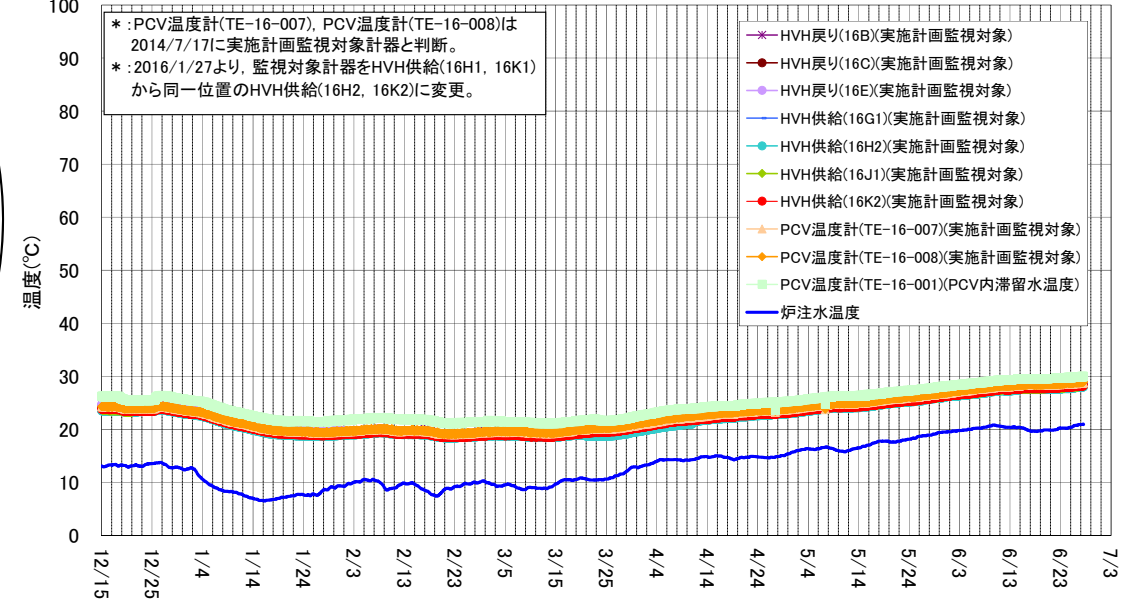
2号機



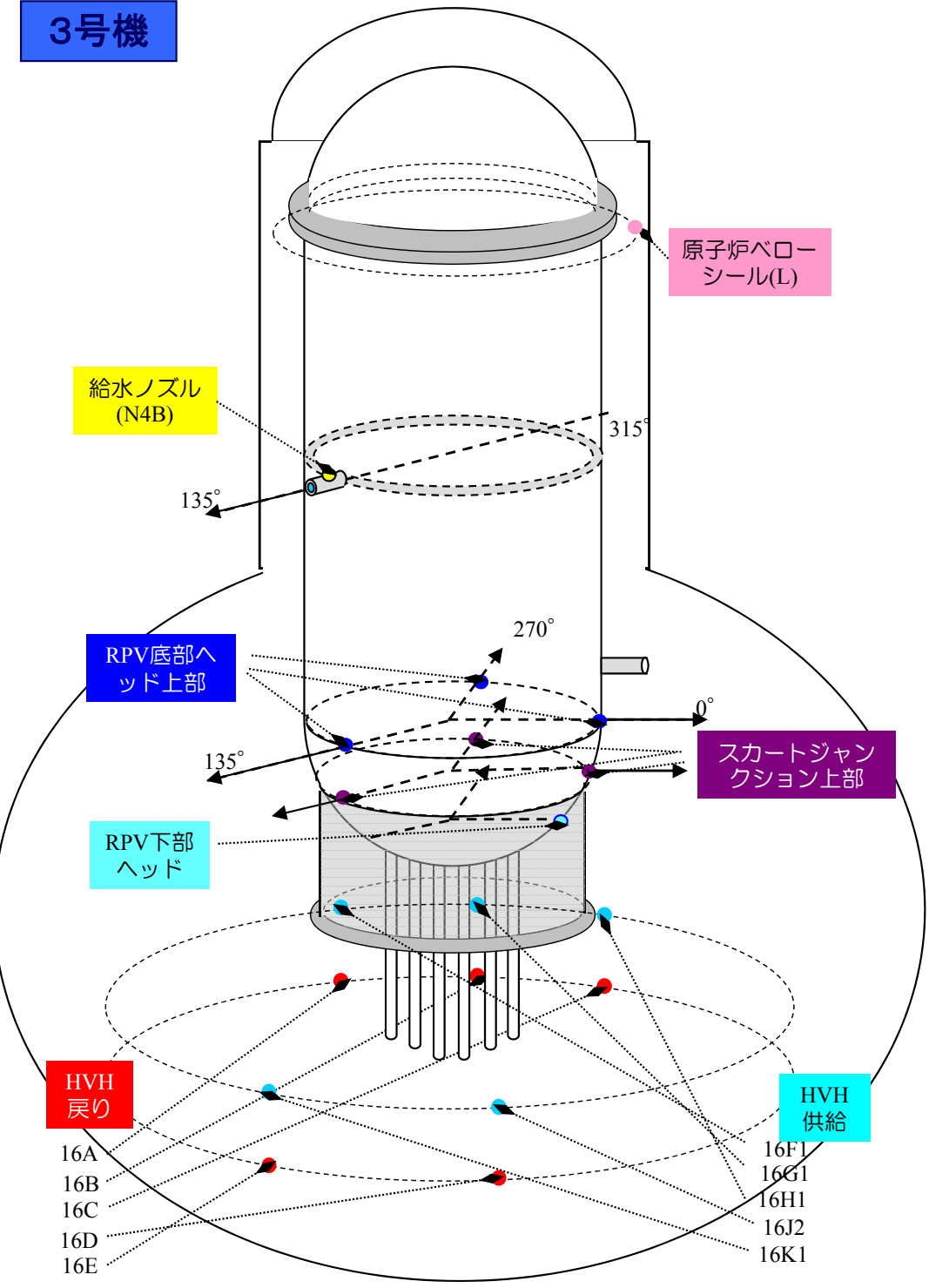
2号機 原子炉压力容器まわり温度 (12/15~6/27)



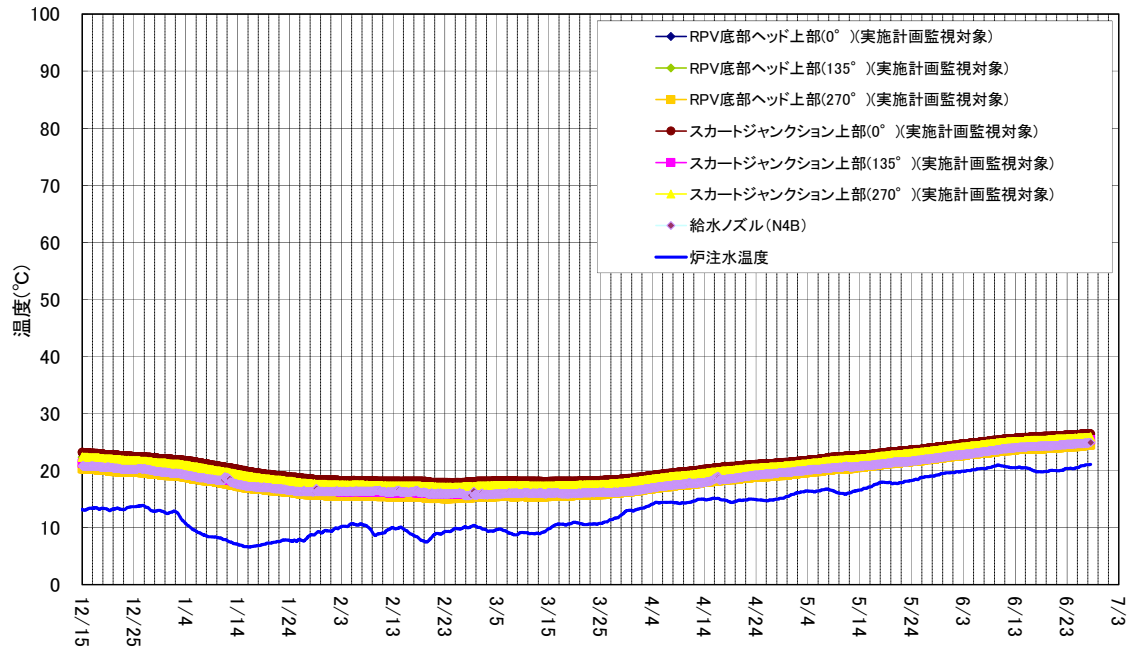
2号機 D/W雰囲気温度 (12/15~6/27)



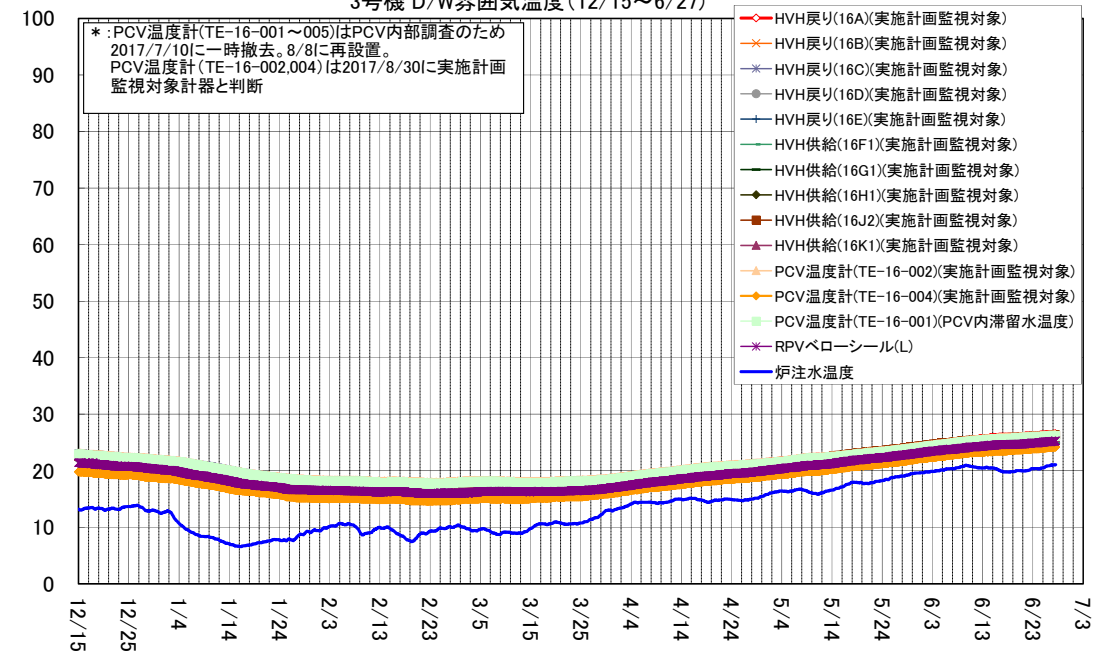
3号機



3号機 原子炉压力容器まわり温度(12/15~6/27)



3号機 D/W雰囲気温度(12/15~6/27)



滞留水の貯蔵及び処理の状況概略

①建屋内滞留水水位及び貯蔵量

・建屋内滞留水水位は運転上の制限を満足

②1~4号機タンク貯蔵量

・淡水化装置による処理により、RO処理水(淡水)及び濃縮塩水の貯蔵量は変動あり
・蒸発濃縮装置は全台停止中

③5, 6号機滞留水貯蔵量

・構内散水によりFエリアタンク貯蔵量は変動あり

④廃棄物発生量

・除染装置停止中のため、廃スラッジ貯蔵量は変動なし

①建屋内滞留水水位及び貯蔵量

施設	貯蔵量	T/B建屋内水位
1号機	約3,460m ³	—※7
2号機	約9,280m ³	T.P.268
3号機	約10,970m ³	T.P.220
4号機	約10,490m ³	T.P.256
合計	約34,200m ³	

貯蔵施設	貯蔵量	水位
プロセス主建屋	約16,590m ³	T.P.3,349
高温焼却炉建屋	約2,490m ³	T.P.-189
合計	約19,080m ³	

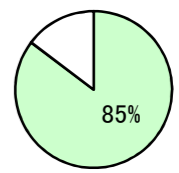
(合計):-240[m³/4週] (合計):-750[m³/週]

施設	貯蔵量	貯蔵容量
廃液供給タンク	824m ³	1,200m ³
SPT(B)	1,667m ³	3,100m ³

(合計):-309[m³/4週] (合計):-141[m³/週]

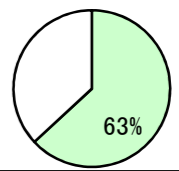
④廃棄物発生量

廃スラッジ



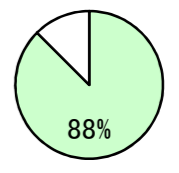
保管量:597/700[m³]※3

使用済ベッセル

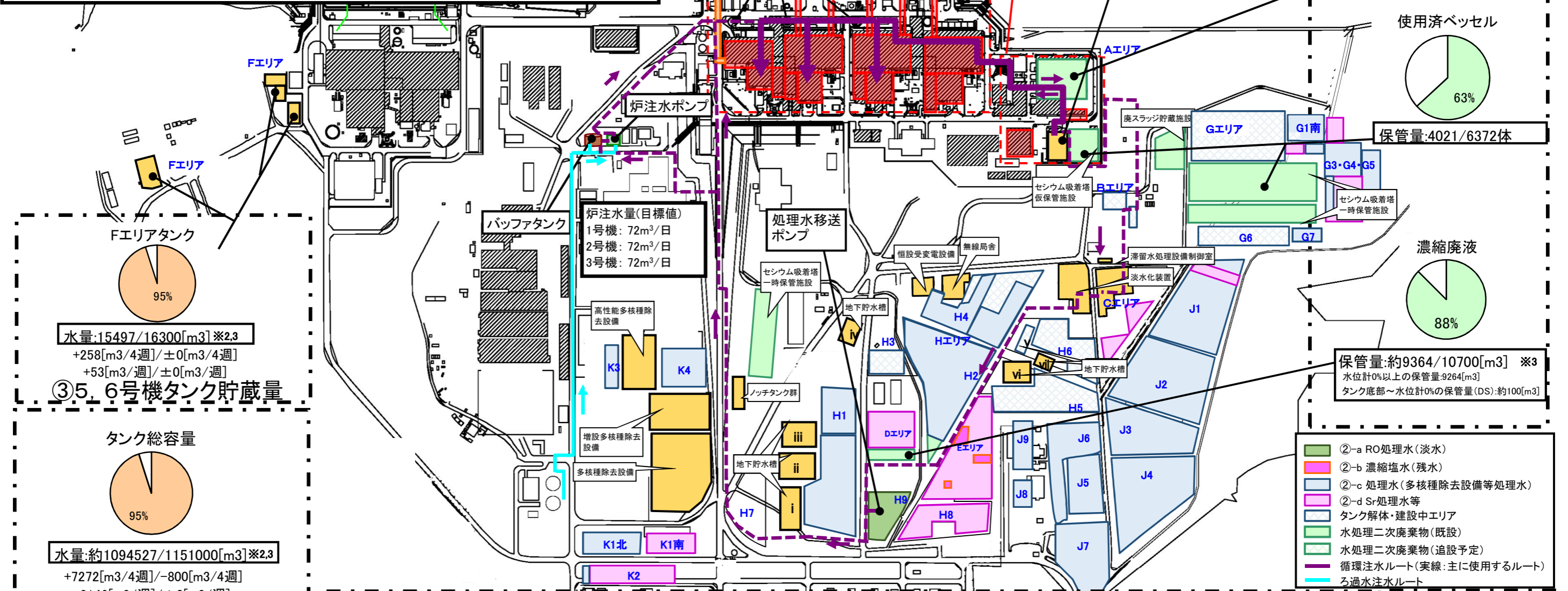


保管量:4021/6372体

濃縮廃液



保管量:約9364/10700[m³] ※3
水位計0%以上の保管量:9264[m³]
タンク底部~水位計0%の保管量(DS):約100[m³]

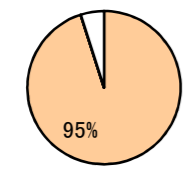


水量:15497/16300[m³] ※2,3

+258[m³/4週]/±0[m³/4週]
+53[m³/週]/±0[m³/週]

③5, 6号機タンク貯蔵量

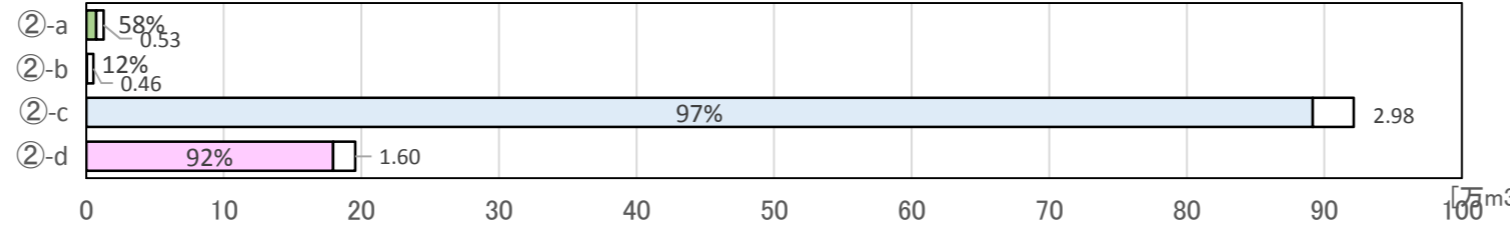
タンク総容量



水量:約1094527/1151000[m³] ※2,3

+7272[m³/4週]/-800[m³/4週]
+2146[m³/週]/±0[m³/週]

タンク貯蔵量合計(②+③)



水量:約7327/12600[m³] ※2,3
水位計0%以上の水量:6427[m³]
タンク底部~水位計0%の水量(DS):約900[m³]

+442[m³/4週]/±0[m³/4週]
+434[m³/週]/±0[m³/週]

②-a RO処理水(淡水)

水量:約600/5200[m³] ※2,3
水位計0%以上の水量:約400[m³]
タンク底部~水位計0%の水量(DS):約200[m³]

±0[m³/4週]/±0[m³/4週]
±0[m³/週]/±0[m³/週]

②-b濃縮塩水(残水)

水量:約891577/921400[m³] ※2,3,4,6
水位計0%以上の水量:889877[m³]
タンク底部~水位計0%の水量(DS):約1700[m³]

+9397[m³/4週]/+5600[m³/4週]
+2933[m³/週]/±0[m³/週]

②-c 処理水
(多核種除去設備等処理済水)

水量:約179526/195500[m³] ※2,3
水位計0%以上の水量:175426[m³]
タンク底部~水位計0%の水量(DS):約4100[m³]

-2825[m³/4週]/-6400[m³/4週]
-1274[m³/週]/±0[m³/週]

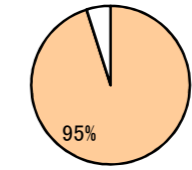
②-d Sr処理水等

水量:約1079030/1134700[m³] ※3,4
水位計0%以上の水量:1072130[m³]
タンク底部~水位計0%の水量(DS):約6900[m³]

+7014[m³/4週]/-800[m³/4週]
+2093[m³/週]/±0[m³/週]

②1~4号機タンク貯蔵量

1~4号機タンク総容量



水量:約1134801[m³]

+6805[m³/4週] ※5
+1182[m³/週]

建屋内貯蔵量

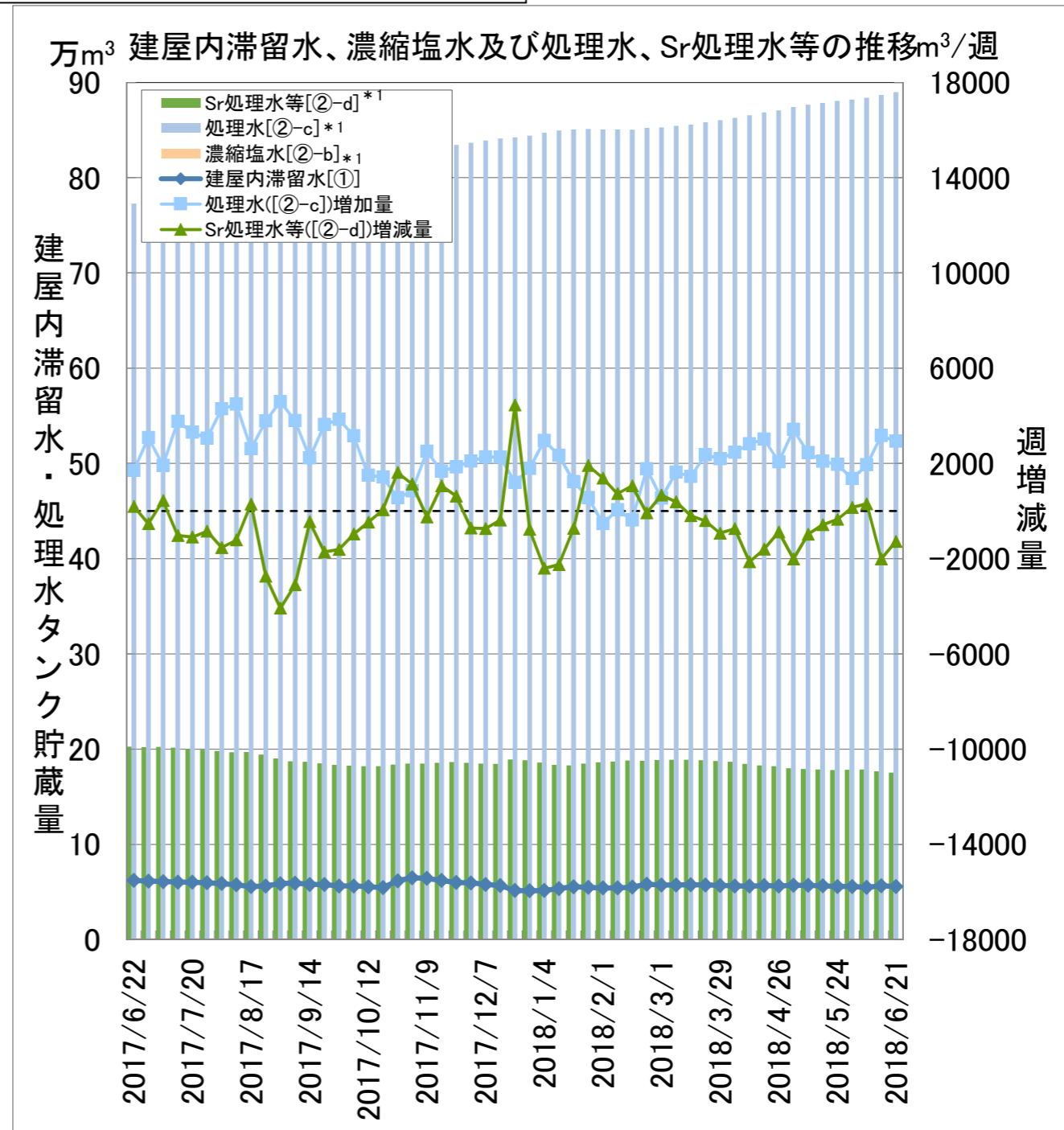
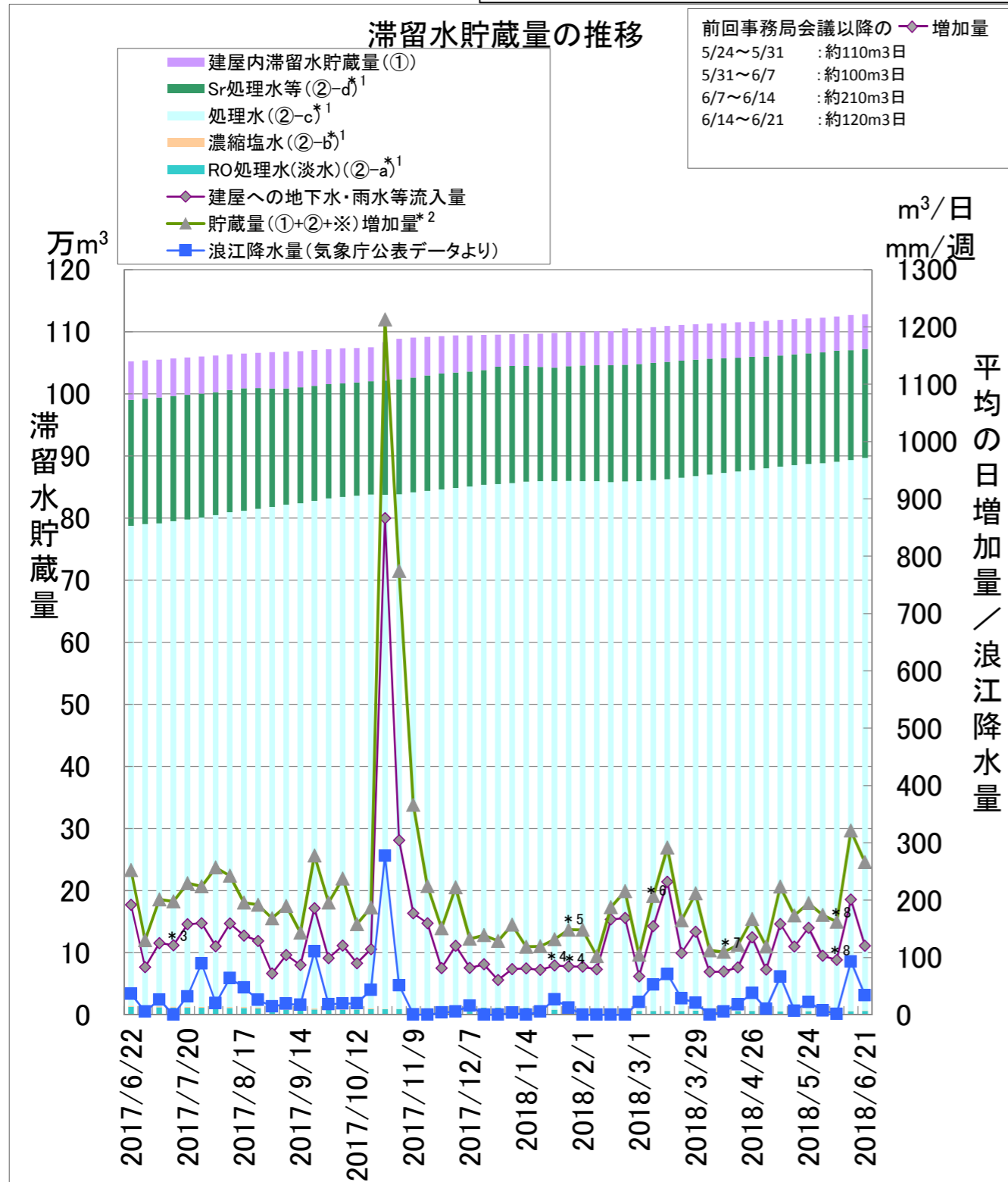
+ 1~4号機タンク貯蔵量

(①+②)

タンク堰内水の一時的貯留量(*6月25日時点の値を記載)
・ノッチタンク群 0/約600[m³]

※1 第二セシウム吸着装置使用済ベッセル及び多核種除去設備の保管容器、処理カラム及びモバイル式処理装置使用済ベッセルを含む
※2 装置稼働中につき水位が静定しないため参考扱い
※3 貯蔵容量は運用上の上限を示す(タンクの貯蔵容量は10の位を切り捨てて表記)
※4 多核種除去設備等(ホット試験中)の処理済水を貯蔵するが、タンクの運用状況に応じて淡水や濃縮塩水を貯蔵
※5 ウェルポイント・地下水ドレン(約130m³/週)、その他移送量(約760m³/週)の合計約890m³/週を含む(端数処理上、各移送量の総和と異なる場合がある)
※6 放射性物質濃度が高い多核種除去設備B系出口水を含む
※7 1号機T/B建屋はすでに水抜きが完了しているため、水位を「-」表記する。

滞留水の貯蔵状況の推移



- ①: 建屋内滞留水貯蔵量(1~4号機、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋、廃液供給タンク、SPT(B))
 ②: 1~4号機タンク貯蔵量
 ([②-aRO処理水(淡水)]+[②-b濃縮塩水]+[②-c処理水]+[②-dSr処理水等])
 ※: タンク底部から水位計0%までの水量(DS)

*1: 水位計0%以上の水量
 *2: 貯蔵量増加量の精度向上として、2017/2/9より算出方法を以下の通り見直し。(2018/3/1見直し実施)
 [(建屋への地下水・雨水等流入量)+(その他移送量)+(ALPS薬液注入量)]
 *3: 2017/7/5に実施した調査結果から、1号機T/B未調査エリアの水量が想定水量よりも少ないことが判明したため補正
 *4: 残水エリアへ流入した地下水・雨水等流入量を加味して再評価(2018/1/18, 1/25)
 *5: SARRY逆洗水を「貯蔵量増加量」に加味していたことから見直し。(2018/1/25)
 *6: 右記評価期間は、建屋水位計の校正の影響を含む。(2018/3/1~3/8: 3号機タービン建屋)
 *7: ALPS薬液注入量の算出方法を以下の通り見直し。(増設ALPS: 2018/4/12より見直し実施)
 [(出口積算流量)-(入口積算流量)-(炭酸ソーダ注入量)]
 *8: 2~4号機タービン建屋海水系配管等トレンチの滞留水貯蔵量の計算式見直しを踏まえ、再評価を実施。(再評価期間: 2017/12/28~2018/6/7)

処理水	累積処理水	期間処理水		定格処理量
	[m ³]	[m ³ /週]	[m ³ /日] ^{注1)}	[m ³ /日]
既設多核種除去設備 ^{注2)}	378,188	375	54	750以上
増設多核種除去設備 ^{注2)}	442,234	2,558	365	750以上
高性能多核種除去設備	102,556	0	0	500以上
高性能 検証試験装置	1,128	0	0	50
Sr処理水等	期間処理水		定格処理量	
	[m ³ /週]	[m ³ /日] ^{注1)}	[m ³ /日]	
セシウム吸着装置	1,774	253	600	
第二セシウム吸着装置			1200	

注1) 週間の平均値
 注2) 既設・増設多核種除去設備処理水の一部は、残水があるRO濃縮塩水タンクに移送し、Sr処理水等として貯蔵

各エリア別タンク一覧

(2018年6月21日 現在)

※下線部は前回報告からの変更点

1～4号機用貯蔵タンク

堰エリア	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備考
C東	5	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	
C西	8	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	
D	31	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	
E	44	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(A, C)	
	5	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	残水処理中
G3東	24	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G3西	7	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
	32	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C, R)	
G3北	6	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	
G4南	<u>0</u>	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	6基アウトオブサービス
G4北	6	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G5	17	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G7	10	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G1南	8	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
	12	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
H1	63	1220	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	
H1東	24	1220	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H2	44	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H4北	32	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H4南	13	1060	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
	<u>17</u>	1140	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
H8北	5	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	
H8南	11	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	
H9	5	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	RO処理水(淡水)	
H9西	7	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	RO処理水(淡水)	
J1	90	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
	2	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (高性能検証試験装置)	
	8	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	
J2	42	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
J3	22	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	
J4	30	2900	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	
	5	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	

堰エリア	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
J5	35	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
J6	38	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
J7	42	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	
J8	9	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
J9	12	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
K1北	12	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	
K1南	10	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	
K2	2	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
	26	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	
K3	12	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
K4	35	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
多核種除去 設備	4	1100	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
高性能多核 種除去設備	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	
増設多核種 除去設備	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
合計	878			Sr処理水等内訳 C:セシウム吸着装置等、M:モバイル型ストロンチウム除去装置等 R:RO濃縮水処理設備、A:多核種除去設備等	

濃縮廃液

D	10	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮廃液	
H2	3	100	鋼製横置きタンク(溶接)	濃縮廃液	

5. 6号機用貯蔵タンク

	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
F2	6	35	鋼製角型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Aタンク
	6	42	鋼製角型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Aタンク
	4	110	鋼製角型タンク(溶接+フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Bタンク
	5	160	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Cタンク
	2	200	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Cタンク
F1	3	299	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	hijタンク
	18	508	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	hijタンク
	5	1100	鋼製円筒型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Kタンク
合計	49				

(参考)

地下水バイパス用タンク

H3	9	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	地下水	
----	---	------	------------------	-----	--

建屋滞留水貯蔵量の見直しについて

2018年6月28日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

2-4号建屋滞留水貯蔵量の見直しについて

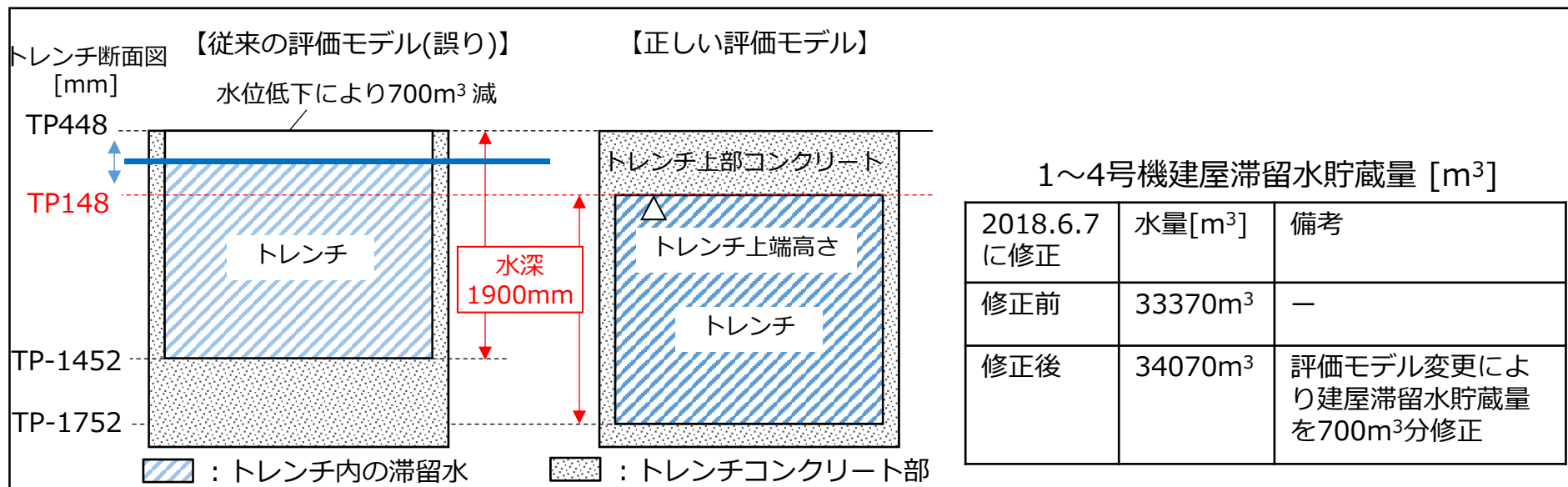
■ 建屋滞留水貯蔵量の見直しについて

- 2～4号機の建屋滞留水貯蔵量の評価モデルに誤りが見つかったため、建屋滞留水貯蔵量の見直しを実施する。

項目	内容
2,3,4号タービン建屋 海水系配管等トレンチ	地下階床面下に設置されている 海水系配管等トレンチ内の滞留水を算出する 評価モデルを修正する。

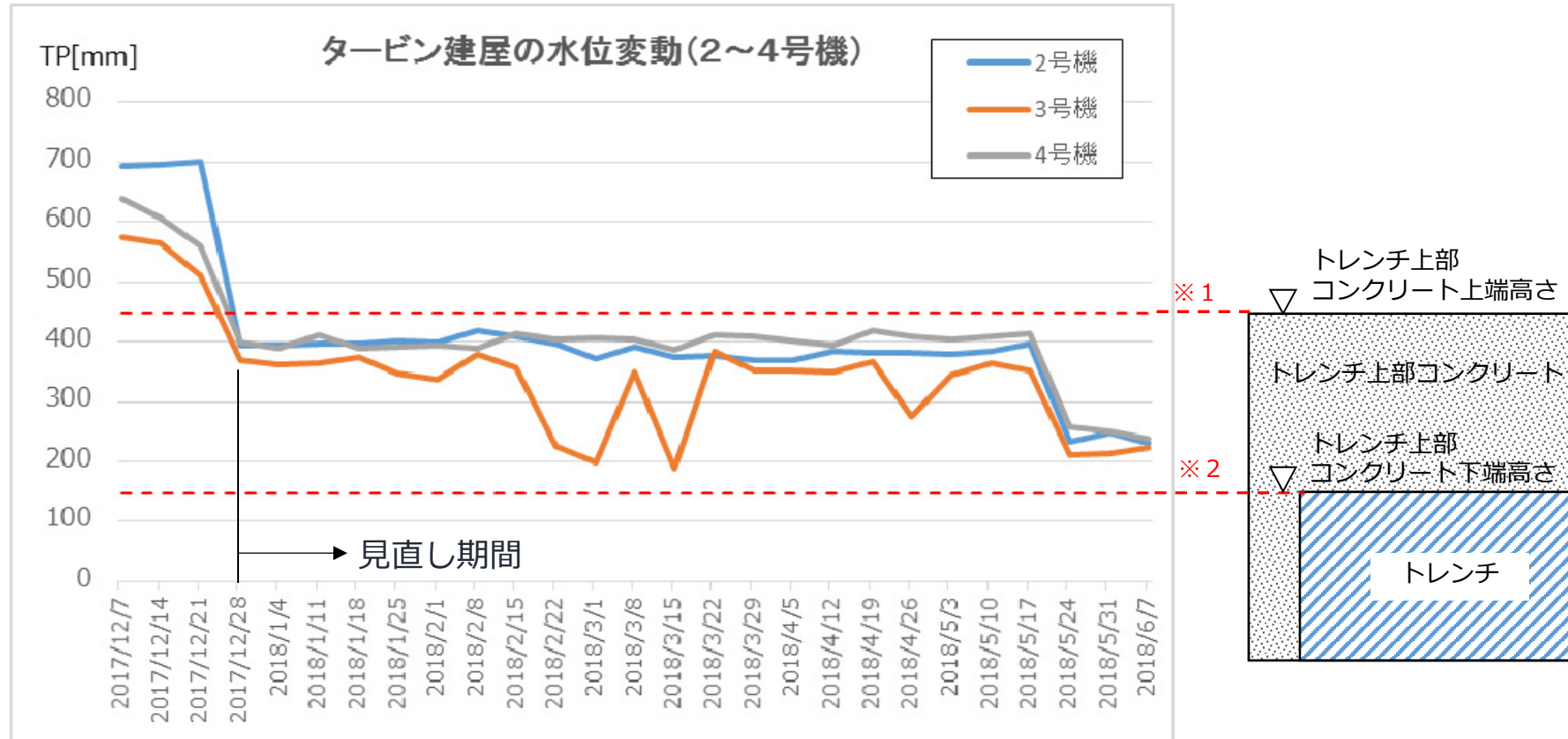
■ 見直し内容（代表ケース：1F-2）

- トレンチ（水深1900mm）上端高さはTP148であるが、従来の評価モデルでは上端高さをTP448としていたことから、本来発生しない建屋滞留水の変動を評価していた。



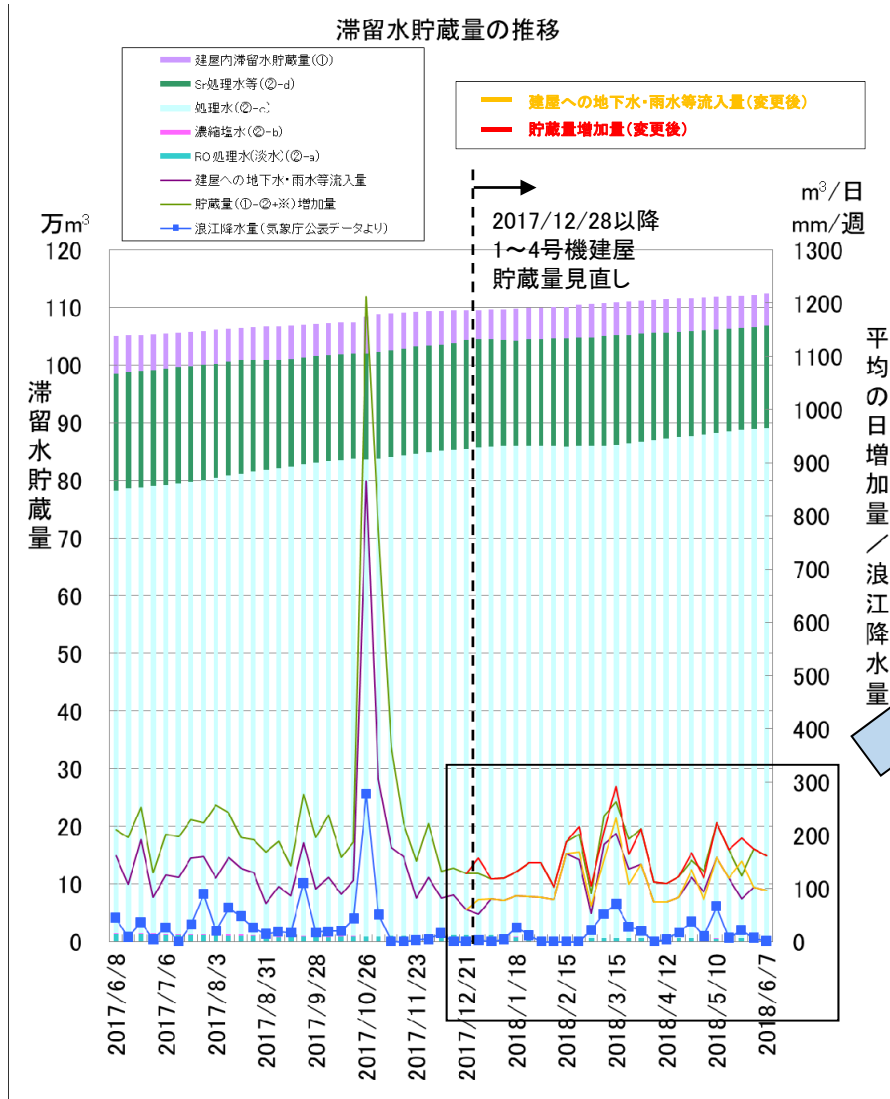
見直し期間について

- 2～4号機タービン建屋の水位変動の推移を下図に示す。
- 各タービン建屋の水位がトレンチ上部コンクリート上端を下回った期間は、2017年12月28日以降であることから、この期間の建屋滞留水量及び地下水他流入量を見直す。

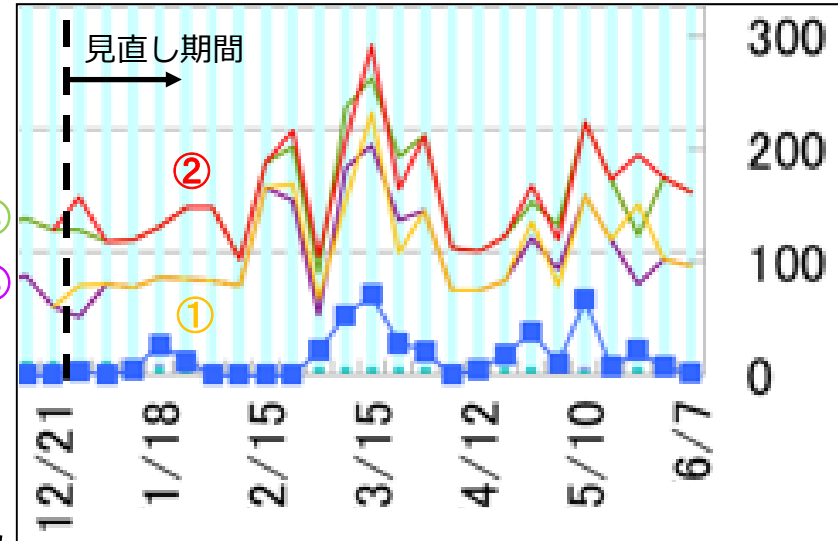


※ 1 トレンチ上部コンクリート上端の高さ 2号 : TP448, 3号 : TP463, 4号 : TP461
 ※ 2 トレンチ上部コンクリート下端の高さ 2号 : TP148, 3号 : TP163, 4号 : TP161

地下水・雨水等流入量及び貯蔵量増加量の見直しについて



■ 見直し期間
2017年12月28日以降



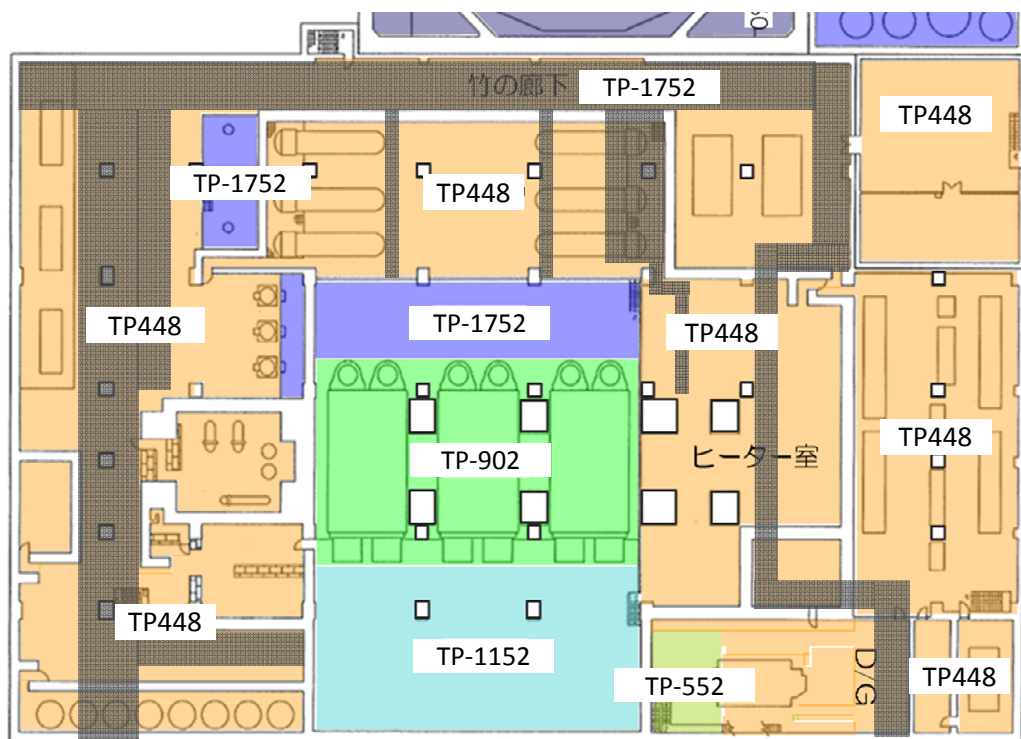
変更後



変更前



- タービン建屋海水系配管等トレンチ内の滞留水貯蔵量算出方法（2017年3月31日より反映）
 - 躯体図から各建屋トレンチの面積を算出。
 - 各トレンチ内の容量はトレンチ面積×トレンチ水深×機器を考慮した有効体積率によって算出。



■ : トレンチ面積部

2号T/B 海水系配管等トレンチ配置図

各T/Bのトレンチ容量算出パラメータ

号機	トレンチ面積	水深*
2号	1,137 m ²	1.9 m
3号	1,243 m ²	1.9 m
4号	1,297 m ²	1.9 m

※TP-1752～148に水が滞留
(2号機の例)

汚染水等構内溜まり水の状況（2018.6.27時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]
1-1	2号機大物搬入口屋上	・2号機大物搬入口屋上	建屋エリアに存在する 建屋	降雨量により変動	【2階】 Cs134: <1.0E1 Cs137: 2.1E1 全β: 2.6E1 H3: 1.0E2 (2015.11.2) 【1階】 Cs134: 1.1E1 Cs137: 4.0E1 全β: 4.1E1 H3: 1.1E2 (2015.11.2)
1-2	2号機R/B	2号機R/B	建屋エリアに存在する 建屋	降雨量により変動	[上屋] Cs134: 200~340 Cs137: 650~1100 全β: 920~1900 Sr90: 10~20 H3: ND(<100) (2015.1.16)
2	5,6号機貯留タンク(フランジタンク)	・5,6号機貯留タンク(フランジタンク)	6号機北側	約10,000 (2015.4.16時点)	Cs134: 1.1E1 Cs137: 7.0E1 Co60: — (2017.5.24)
3	5,6号機貯留タンク(溶接タンク)	・5,6号機貯留タンク(溶接タンク)	6号機北側	約5000 (2015.4.16時点)	Cs134: 7.7E0 Cs137: 4.3E1 Co60: — (2016.10.3)
4-1	吸着塔一時保管施設(HIC)	・吸着塔一時保管施設(第二施設、 第三施設)	・吸着塔一時保管施設 (第二施設、第三施設)	0 (ボックスカルバート内 の水は拭き取り実施 済み)	【No.172(AJ5)蓋外周部(他調査中)】 Cs134: 1.9E+3 Cs137: 6.8E+3 全β: 3.0E+6 (2015.4.2)
4-2	吸着塔一時保管施設	水処理二次廃棄物 (SARRY、KURION、ALPS処理カラ ム、モバイル式処理装置)	吸着塔一時保管施設 (第一施設、第四施設)	1程度(1基あたり)	Cs137: 2.0E3~1.6E7 Sr90: 5.3E3~4.3E7 (2017.2~2017.3)
5	No.1ろ過水タンク (RO濃縮塩水/溶接タンク)	・No.1ろ過水タンク (RO濃縮塩水/溶接タンク)	屋外(タンクエリア)	約1(一部1cm残水あ り)	【No.1ろ過水タンク】 Cs-134: 2.3E+03 Cs-137: 4.3E+03 全β: 6.6E+07 (2013.11.19)
6	4000tノッチタンク (角型タンク)	・4000tノッチタンク	タンクエリア	約100 (2017.7.24時点)	【3000tノッチタンク】 水抜き済 【1000tノッチタンク】 Cs134: 3.6E0 Cs137: 2.7E1 全β: 2.2E5 (2017.6.1)
7	濃縮水タンク (蒸発濃縮装置濃廃水)	蒸発濃縮装置濃縮水用ノッチタ ンク (スラリー/濃縮水)	タンクエリア (Cエリア)	約85 (2015.6.9時点)	【蒸発濃縮装置濃廃水】 Cs134: 1.7E4 Cs137: 2.5E4 全β: 4.7E8 (2011.12.20)
8	淡水貯留タンク (G1エリア地下タンク)	・淡水貯留タンク (横置きタンク)	タンクエリア	— (2017.8時点)	—

汚染水等構内溜まり水の状況（2018.6.27時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]
9	5, 6号機逆洗弁ピット及び吐出弁ピット	・5号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット ・6号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット ・5号機逆洗弁ピット ・6号機逆洗弁ピット	5, 6号機スクリーン近傍	(5号機吐出弁ピット) 約550 (6号機吐出弁ピット) 約850	【5号機吐出弁ピット】 (2016.10.5) Cs134: ND Cs137: 3.4E0 【6号機吐出弁ピット】 (2016.10.5) Cs134: ND Cs137: 3.7E0 【5号逆洗弁ピット】 (2016.10.3) Cs134: 3.0E0 Cs137: 1.9E1 【6号逆洗弁ピット】 (2016.10.3) Cs134: 1.5E0 Cs137: 1.1E1
10	1~4号機T/B屋根	・1号機T/B ・2号機T/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【1号機T/B上屋】 Cs134: 1.2E2 Cs137: 9.7E2 全β: 1.1E3 (2017.6.19) 【2号機T/B上屋】 Cs134: 7.9E1 Cs137: 5.4E2 全β: 5.0E2 (2017.6.19)
11	1号CSTタンク(溶接タンク)	・1号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約740 (2016.10.26)	Cs134: 2.9E+4 Cs137: 1.9E+5 全β: 2.2E+5 (2016.11.7)
12	2号CSTタンク(溶接タンク)	・2号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約2260 (2015.6.17現在)	Cs134: 1.7E+4 Cs137: 5.7E+4 全β: 4.2E+6 (2015.3.23)
13	3号CSTタンク(溶接タンク)	・3号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約2120 (2015.6.17現在)	【CST入口水(淡水化装置出口水)】 (2018.4.12) H3: 2.3E6 Sr90: ND 【CST貯留水】 (2015.7.16) Cs134: 2.1E+3 Cs137: 8.0E+3
14	4号CSTタンク(溶接タンク)	4号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約2000	【プラント復水】
15	地下貯水槽	地下貯水槽No. 1	タンクエリア	一※ (2016.4.21)	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 1.1E6 (2017.9.13) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 7.7E4 5.3E4 (2018.5.23) (2018.6.20) H3: 3.4E2 ND (2018.5.2) (2018.6.6)
16	地下貯水槽	地下貯水槽No. 2	タンクエリア	約300 (2017.3.29) 約40 (2017.5.31)	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 2.7E6 (2018.1.26) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 7.2E3 7.3E3 (2018.5.23) (2018.6.20) H3: ND ND (2018.5.2) (2018.6.6)
17	地下貯水槽	地下貯水槽No. 3	タンクエリア	約150 (2016.4.21)	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.9E6 (2017.9.13) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 3.5E4 2.2E4 (2018.5.24) (2018.6.21) H3: 7.6E2 4.1E2 (2018.5.3) (2018.6.7)

※: 水位計の計測限界水深未満(残水あり)

汚染水等構内溜まり水の状況（2018.6.27時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]
18	地下貯水槽	地下貯水槽No. 4	タンクエリア	—※ (2016.4.21)	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β：7.9E4 (2017.9.12)
19	地下貯水槽	地下貯水槽No. 5	タンクエリア	撤去完了	【使用実績なし(水張試験のみ)】 —
20	地下貯水槽	地下貯水槽No. 6	タンクエリア	約120 (2016.4.21)	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β：9.0E6 (2017.9.12) (参考：漏えい検知孔水) 全β：2.6E1 (2018.5.24) ND H3：ND ND (2018.5.3) (2018.6.21) (2018.6.14)
21	地下貯水槽	地下貯水槽No. 7	タンクエリア	約90 (2016.4.21)	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β：1.7E2 (2017.9.12)
22	1-4号建屋接続トレンチ	・1号機コントロールケーブルダクト ・集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト(2号機廃棄物系共通配管ダクト) ・1号機薬品タンク連絡ダクト 等	1~4号機周辺	約4~510 (2017.10~2018.2)	Cs134:6.1E0~6.7E1 Cs137:7.1E1~5.7E2 全β：8.0E1~8.2E2 H3：ND~3.3E2 (2017.10~2018.2)
23	2~4号機DG連絡ダクト	・2~4号機DG連絡ダクト	2~4号機山側	約1600 (2017.10)	Cs134:8.6E0 Cs137:7.5E1 全β：1.2E2 H3：ND (2017.10)
24-1	1号機海水配管トレンチ	・1号機海水配管トレンチ	1号機タービン建屋海側	約3000	Cs134:3.8E0 Cs137:3.2E1 全β：3.4E1 (2017.10.31)
24-2	2号機海水配管トレンチ	・2号機海水配管トレンチ	2号機タービン建屋海側	0 (2015.6.30時点)	—
25-1	3号機海水配管トレンチ	・3号機海水配管トレンチ	3号機タービン建屋海側	0 ^(注) (2015.7.30時点) (注)立坑D上部を除く	— 【立坑D】 Cs134:5.6E5 Cs137:1.9E6 全β：4.2E6 H3：1.5E5 (2015.2.27)
25-2	4号機海水配管トレンチ	・4号機海水配管トレンチ	4号機タービン建屋海側	0 ^(注) (2015.12) (注)建屋接続部及び建屋接続部近傍の開口部を除く	—
26	3号機起動用変圧器ケーブルダクト	・3号機起動用変圧器ケーブルダクト	3号機山側	約860 (2017.10)	Cs134:4.8E1 Cs137:4.0E2 全β：4.4E2 H3：ND (2017.10)
27	廃棄物処理建屋間連絡ダクト	・廃棄物処理建屋間連絡ダクト	プロセス主建屋北側	充填完了	—
28	1-4号建屋未接続トレンチ	・2号機変圧器防災用トレンチ ・消火配管トレンチ(3号機東側) ・1号機主変圧器ケーブルダクト ・1号機廃液サージタンク連絡ダクト ・1号機オフガス配管ダクト 等	1-4号機周辺	約7~820 (2015.10~2016.1)	Cs134:ND~2.2E2 Cs137:ND~9.2E2 全β：5.1E1~1.4E3 H3:ND~3.1E2 (2015.10~2016.1)

※：水位計の計測限界水深未満(残水あり)

汚染水等構内溜まり水の状況（2018.6.27時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]
29	1～4号機サブドレンピット No.15,16(未復旧ピット)	・サブドレンピットNo.15,16	1～4号機周辺 「未復旧」	約20m ³	No.16 Cs134:1.0E5 Cs137:8.1E5 全β: 8.3E5 H-3: 2.7E3 (2017.6.22)
30	その他1～4号機サブドレン(ディー プウェル含む)(未復旧ピット)	・1号機～4号機サブドレン	1～4号機周辺 「未復旧」	約15/ピット	No.47,48 Cs134:ND～3.9E1 Cs137:4.8E1～9.6E1 全β:7.9E1～2.8E2 H-3:ND (2014.11.10)
31-1	1～4号機逆洗弁ピット	・1号機逆洗弁ピット ・2号機逆洗弁ピット ・3号機逆洗弁ピット ・4号機逆洗弁ピット	1～4号タービン建屋海 側	(1号機逆洗弁ピット) 約300 (2016.7.11) (2号機逆洗弁ピット) 約900 (2016.7.11) (3号機逆洗弁ピット) 約700 (2016.7.11) (4号機逆洗弁ピット) 約1300 (2016.7.11)	(1号機逆洗弁ピット)(2016.5.18) Cs134:4.4E3 Cs137:2.5E4 全β:2.9E4 H3:2.6E2 (2号機逆洗弁ピット)(2016.5.18) Cs134:1.4E2 Cs137:8.0E2 全β:9.3E2 H3:ND (3号機逆洗弁ピット)(2016.5.18) Cs134:2.4E3 Cs137:1.2E4 全β:1.5E4 H3:5.3E2 (4号機逆洗弁ピット)(2016.5.18) Cs134:2.3E2 Cs137:1.2E3 全β:1.3E3 H3:ND
31-2	1-4号機吐出弁ピット	・1号機ポンプ室循環水ポンプ吐出 弁ピット ・4号機ポンプ室循環水ポンプ吐出 弁ピット	1～4号タービン建屋海 側	【1号機吐出弁ピット】 0 (2015.11) 【4号機吐出弁ピット】 0 (2015.10)	【1号機吐出弁ピット】 — 【4号機吐出弁ピット】 —
32	1号機放水路 (出口を閉塞済)	・1号機放水路 (出口を閉塞済)	1～4号タービン建屋海 側	約3800	【放水路上流側立坑】 (2018.5.25) (2018.6.22) Cs134:6.6E1 5.8E1 Cs137:7.1E2 5.6E2 全β:8.8E2 7.0E2 H3:2.2E2 ND
33	2号機放水路 (出口を閉塞済)	・2号機放水路 (出口を閉塞済)	2-4号機タービン建屋 海側	約3000	【放水路上流側立坑】 (2018.5.25) (2018.6.22) Cs134:2.7E2 1.5E2 Cs137:2.8E3 1.5E3 全β:3.7E3 1.9E3 H3:1.5E2 1.2E2
34	3号機放水路 (出口を閉塞済)	・3号機放水路 (出口を閉塞済)	3-4号機タービン建屋 海側	約600	Cs134:2.6E2 Cs137:1.1E3 全β:1.7E3 H3:9.0E2 (2015.6.10)
35	キャスク保管建屋	・キャスク保管建屋	物揚場 西側	約4500	Cs134:7.2 Cs137:23 I-131:<4.3 Co-60:<4.2 全γ放射能:3.1E+1 (2014.5.23)
36	5号CSTタンク (溶接タンク)	・5号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1000	Cs134:ND Cs137:ND Co60:2.1E1 (2017.6.14)
37	6号CSTタンク (溶接タンク)	・6号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1250	Cs134:ND Cs137:ND Co60:2.9E1 (2017.7.6)
38	5/6号他 トレンチ	・5号機海水配管トレンチ ・5・6号機スチームドレン配管トレン チ ・5号機重油配管トレンチ(東側) ・5号機放射性流体用配管ダクト ・5号機主変圧器ケーブルダクト 等	5～6号機周辺	約1～1900 (2015.10～2016.1)	Cs134:ND～2.2E2 Cs137:ND～9.9E2 (2015.10～2016.1)

汚染水等構内溜まり水の状況（2018.6.27時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]
39	5, 6号機サブドレン	・5,6号機サブドレンピット	5～6号機周辺 ※「復旧対象」	約15/ピット	Cs134: ND～0.34 Cs134: ND～0.95 全β: ND～2.6 H-3: ND～25 (採水期間: 2014.8～2014.11)
40	キャスク保管建屋サブドレン	・キャスク保管建屋サブドレン	物揚場 西側	約15/ピット	Cs134: 1.0E+1 Cs137: 1.4E+1 Co-60: <6.0E-01 全γ放射能: 2.4E+1 (2012.1.18)
41	SPTタンク(1～4号)(A) (溶接タンク)	・SPTタンク(1～4号)(A) (溶接タンク)	SPT建屋	約2800 (2015.3.25時点)	Cs134: 8.0E+4 Cs137: 1.6E+5 Co60: 6.5E+2 (2013.8.27)
42	集中ラド周りサブドレン	・集中ラド周りサブドレン	主プロセス建屋等各建屋周辺	約15/ピット	Cs134: ND Cs137: ND (2017.7.13)
43	メガフロート	・メガフロート	港湾内	約9000 (2017.3)	No.5VOID Cs134: ND Cs137: 2.7 Sr90: ND H3: ND (2017.2.16)
44	純水タンクNo.1	・純水タンク	屋外(建屋エリア)	約850	Cs134: 2.1 Cs137: 7.2 全β: 12.2 H-3: ND (2015.5.29)
45	5/6号機建屋滞留水	・5/6号機建屋滞留水	5～6号機	約6000 (2015.6時点)	【5号機】 Cs134: ND Cs137: ND H3: ND 全β: ND (2017.5.22) 【6号機】 Cs134: 1.3E0 Cs137: 6.1E0 H3: 3.5E2 全β: 1.5E1 (2017.5.23)
46	排気筒ドレンサンピット	・1/2号排気筒ドレンサンピット ・3/4号排気筒ドレンサンピット ・5/6号排気筒ドレンサンピット ・集中RW排気筒ドレンサンピット	1～4号機周辺 5/6号機周辺	1/2号サンピット 約0.3※ 3/4号サンピット 約2 5/6号サンピット 約5 集中Rwサンピット 約20 ※適宜溜まり水の移送を実施	【1/2号サンピット】 (2018.3.12) 全β: 1.1E7 Cs134: 1.2E6 Cs137: 1.2E7 【3/4号サンピット】 (2016.3.17) 全β: 1.3E3 Cs134: 2.4E2 Cs137: 1.1E3 【5/6号サンピット】 (2015.9.16) 全β: 7.6E1 Cs134: 1.2E1 Cs137: 4.7E1 【集中Rwサンピット】 (2015.12.17) 全β: 7.6E2 Cs134: 1.5E2 Cs137: 6.6E2
47	固体廃棄物貯蔵庫(6～8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫(6～8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫(6～8号棟)	約200	Cs-134: ND Cs-137: 5.3E+1 全β: 4.8E+1 (2017.11.10)